

1332

106				

山
 入
 外
 親
 念

謝
 金

綴書類

昭和四年二月十八日起案

起案者 捺印

昭和四年貳月貳拾陸日

經理局 4.2.18 受接

後送 發付後起 案者捺印

主務局部 取扱者捺印

起案部紙(用)

406	3	改	水	取扱
				指定

1333

番號

官房第五五又號

昭和四年二月十六日
燃廠第三三號三謝金受納件認許入

大臣 閣

次官

書記官

副官

(主務) 軍務局長

第一課長

局員

軍需局長

經理局長

第二課長

第一課長

第二課長

書記官

書記官

書記官

軍令	艦政	法務	建築	經理	醫務	軍需	教育	人事	軍務	官房	局部
						4.2.25				4.2.18	受月日
						4.2.25				4.2.18	發月日

26

司令長官

代

參謀長

參謀官

官

海軍

燃料廠

附延

經理 4. 2. 5.

海軍 4. 2. 5. 吳鎮守府 20/ 彌

2. 13 軍

二月廿五日進達

昭和四年二月四日

海軍

大臣殿

海軍燃料廠

海軍燃料廠

海軍燃料廠

軍務局

軍需局

1334

官房第五ノノ號

海軍

經理部長

金受納ノ件上申

客年六月鐵道大臣官房研究所ノ依頼ニ依リ炭燼ノ利用方法ニ關スル參考資料ヲ提供セル課長 謝禮員 シテ金參百圓贈呈方申出有之候ニ就テハ之ヲ受納シ殉職從業員ノ祭典費基金ノ一部ト致度候條御認許相成度

(終)

吳經第 四號 六一

昭和 四年 二月 十日

第一課長

海軍省經理部第一課長

海軍省經理部第一課長殿

謝金受納ノ件依命照會

頭書ノ件、閣下本月四日付燃廠第三三號ノニテ
 以テ海軍燃料廠長ヨリ上申相成候旨取謝金ハ
 密月上旬鐵道省ヨリ燃料廠長宛送金シ来リシニ
 燃料廠、之ヲ受領ス、キ別段ノ理由ナキ、故テ
 以テ鐵道省經理局、返付セシ、鐵道省、之ヲ既、
 大臣ノ決裁ヲ得テ支出手續済、モノナレハ今更戻入
 困難ナリトシ証券ハ目下令有經理局、保管中ナルモ
 之力當分方、困難ノ角度之カ受領方ヲ懇願シ

海軍

經理局
 4.2.16
 受接

来レルハ依リ燃料廠、ヲモ商當、使途ヲ考究ノ上
 之ヲ愛領スルコト、セハ円満、解決ス、レトノ見地ヲ
 上申シタル次第ニ有之候條右事情御了儀ノ
 上然ルハ御配慮相煩度

(終)

(明治三十八年)

海軍